

戸塚第二地区社会福祉協議会
会長 西村邦夫

フレンズ戸塚の15周年祭

フレンズ戸塚では、11月30日に開所15周年記念祭が開催されました。

2階では模擬店や物品販売が実施され、ボランティアの方達が作った焼きそばやポップコーンだけでなく東北震災の復興支援のための東北の物産販売もありました。

3階ではキラキラの会や東戸塚小学校の放課後キッズクラブのハンドベルの演奏などボランティアと子供たちの活動報告会が行われました。

会場には、ウナシーも参加して、子供達に囲まれ握手会で会場を盛り上げていました。

戸塚第二地区は、矢沢町内会のポップコーンの装置をお借りして、ポップコーン製造を担当しました。



キッズクラブのハンドベル演奏



大活躍のポップコーン装置

ふれあいサロンは大盛会

一時休止になっていたふれあいサロンの食事会が、新たなボランティアの方々のお力を得て、去る11月11日11時より再開されました。当日は、再開第1回と言うこともあって、新たに参加された方々を含めて29人が参加され、更に戸塚区社協の招待者、ボランティアを含め、総勢50人近くの盛大な食事会となりました。

次回をお楽しみに！



何もない室内で寝ましょう

去る、11月22日22時8分頃長野県北部でマグニチュード6.8の大地震が発生しました。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。時間的に就寝前と言うことで、死亡者が出なかったことは不幸中の幸いでした。もし、就寝中であつたらこうは行かなかったでしょう。

所で、11月19日、戸塚公会堂で戸塚区防災講演会が開催されました。阪神淡路大地震の時に室内で死亡又は怪我をされた人のうち50%が家具の転倒や挟まれによるもの、30%がガラスの破片によるものでした。それ故、夜間に地震が起きた時のことを考えれば、身の回りに家具を置かないことが重要で、「何もない部屋で寝ていれば80%以上の人は怪我をしないで済む」と言う話です。

明らかに家具は凶器です。如何に家具の固定が大切かを示す実証データです。

